

1 事業報告(2023年度)

今期は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などにともない社会生活が正常化に向かう中、「将来に向けた企業価値や施設価値の向上に持続的に取り組み、お客様・地域社会・ステークホルダーの皆様さらに愛されるノクティプラザに進化させ、商業振興とまちづくりの発展に寄与する」との経営方針の基で施策を着実に実行してまいりました。

営業面では、お客様のニーズにあった新テナントを誘致し、新規顧客の獲得に繋げるとともに、2月にはノクティポイントアプリを導入し、お客様の利便性をより高め、テナント売上の伸長に寄与いたしました。また、川崎フロンターレ・川崎ブレイブサンダースの両チームのノクティ冠試合や応援イベントの実施などで、ノクティへの集客力を高め、お客様や地域との一体感を醸成し、川崎市の盛り上げに貢献いたしました。

環境・安全面では、1ビルエスカレーター周りのリニューアルや照明のLED化など、環境改善をさらに推進する施策を行いました。また、2ビル入口に駐輪禁止の床面シートを設けるなど放置自転車対策を強化いたしました。その他、老朽化した屋上広場のミスト装置や喫煙所空調設備の改修や、防犯カメラの更新など、お客様にとって安全・安心で快適な設備の更新も継続して行いました。

地域貢献面では、4年ぶりに開催した納涼盆踊り大会をはじめ、市民コンサート、キラリデッキイルミネーションなどのイベントを、地域団体や行政と一体となって実施いたしました。また、川崎市政100周年・全国都市緑化かわさきフェア事業に協賛し、ノクティビジョンでのPR動画を年間通じて放映いたしました。保育園の屋上利用については、本年度も引き続き実施し、3千人を超える園児の利用があり、地域の保育環境の充実に貢献しました。

これらの取り組みにより、来店されたお客様の数は2071万人で前年比107%と増加し、テナント売上高は77億5百万円で前年比107%の増加となり、2019年度比でも102%とコロナ禍以前の売上を上回り、順調に業績が回復しております。

その結果、エネルギー価格をはじめとする物価高騰など社会経済状況が厳しい中においても、当社の売上高は、22億80百万円と前年比8百万円の増収となり、当期純利益は1百万円の黒字となりました。

当社は、1995年の会社設立以来、再開発事業の成果を継承・発展させることを目的にノクティの管理・運営及びテナント誘致や集客・販売事業施策を通じて、安定的・持続的な成長を目指した経営活動に取り組み、地域社会やステークホルダーに愛される商業施設を目指してまいりました。2024年度以降につきましても、2027年に迎えるノクティプラザ開業30周年を見据え、ノクティビジョンの更新、店舗施設共用部等の環境メンテナンス、インバータ化やLED化等の環境負荷低減策、防犯カメラ更新や老朽化した袖看板撤去等の安全対策など、持続的な企業価値や施設価値の向上に取り組むため、将来に向けた設備投資を着実に実施し、お客様・地域社会・ステークホルダーの皆様にご貢献してまいります。

2 決算状況(2023年度)

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

| 資 産 の 部 | |
|-----------|-----------|
| 流 動 資 産 | 2,001,037 |
| 固 定 資 産 | 2,218,208 |
| (有形固定資産) | 371,505 |
| (無形固定資産) | 27,397 |
| (投資その他資産) | 1,819,305 |
| 資 産 合 計 | 4,219,246 |
| 負 債 の 部 | |
| 流 動 負 債 | 686,226 |
| 固 定 負 債 | 2,110,167 |
| 負 債 合 計 | 2,796,394 |
| 純 資 産 の 部 | |
| 株 主 資 本 | 1,422,851 |
| (資本金) | 300,000 |
| (剰余金) | 1,123,851 |
| (自己株式) | △ 1,000 |
| 純 資 産 合 計 | 1,422,851 |
| 負債及び純資産合計 | 4,219,246 |

(2) 損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 |
|------------|-----------|
| 売 上 高 | 2,280,232 |
| 売 上 原 価 | 2,143,979 |
| 売上総利益 | 136,252 |
| 販売費及び一般管理費 | 139,833 |
| 営 業 利 益 | △3,580 |
| 営業外収益 | 6,452 |
| 営業外費用 | 0 |
| 経 常 利 益 | 2,870 |
| 当期純利益 | 765 |